

# サイレント音声認識グループ

- 研究グループの最終目標

声を出さずとも発声時と同様に口を動かしたただけでその内容を認識するサイレント音声認識の実現



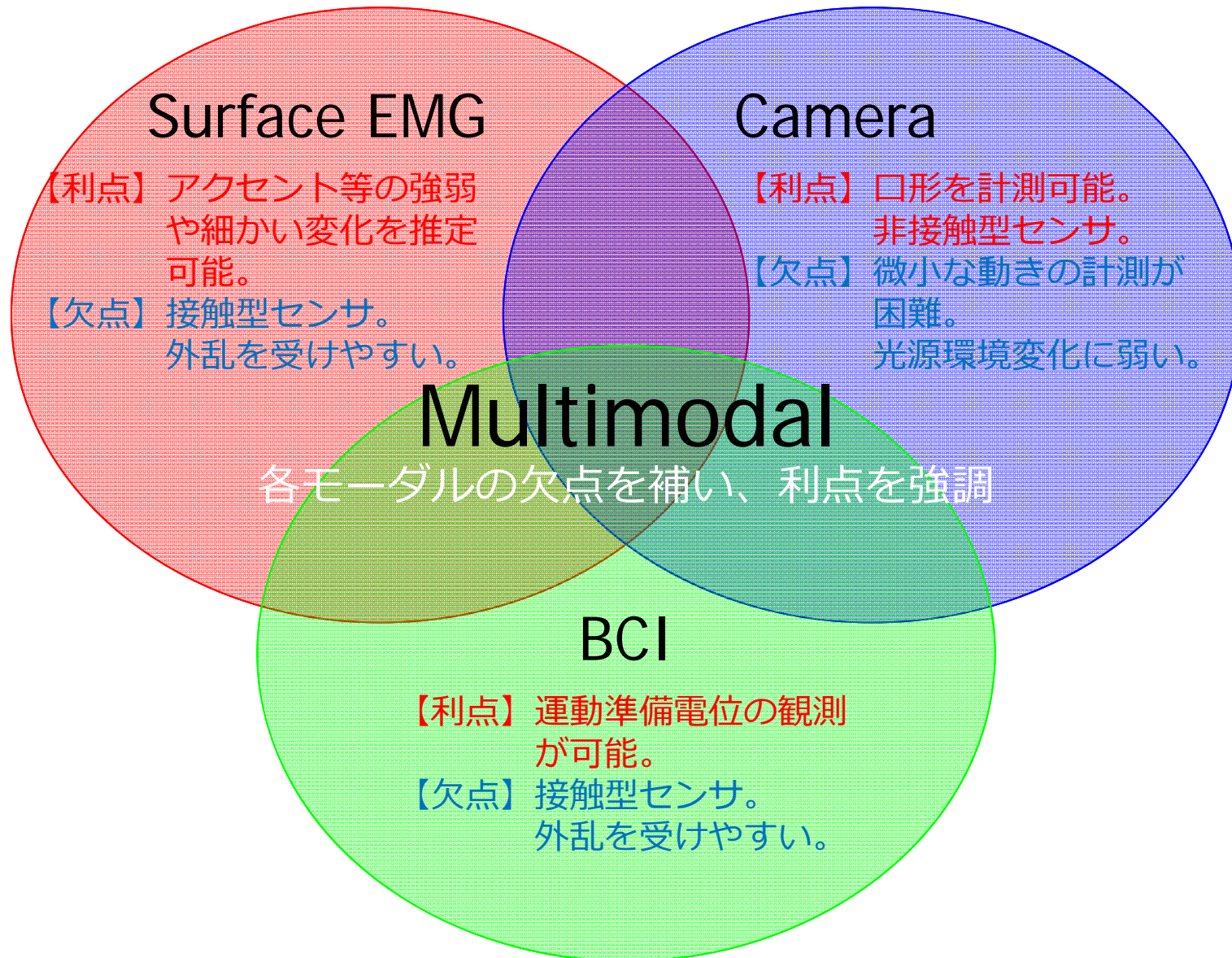
脳波(BCI)、表面筋電信号(Surface EMG)、カメラ画像(Camera)を個々で利用していた研究者の共同による

**マルチモーダルなサイレント音声認識技術の確立**

## サイレント音声認識の利点

- ✓ 耐騒音性や情報秘匿性に優れる。
- ✓ 発声できない喉頭摘出者など発話障害者向けのコミュニケーション支援に貢献できる。
- ✓ 発声時は会話／黙声時は操作、とすることで音声入力と操作とのシームレスな切り替えを実現できる。

# サイレント音声認識



# 研究体制と活動内容

- 研究体制

- ❖ BCI

- 山崎 敏正 (生命情報工学研究系)

- ❖ Surface EMG

- 永井 秀利 (知能情報工学研究系)

- ❖ Camera

- 齊藤 剛史 (システム創成情報工学研究系)

- 活動内容

- ❖ サイレント音声認識ワークショップの開催

- ❖ データ収集

- ❖ 各アプローチによる解析

- ❖ マルチモーダルサイレント音声認識手法の開発